

チャージ電極作成例

必要材料は5つのみで、簡単に買えるものばかりです。

- 1、梱包用幅広（50mm幅）セロハンテープ、カッター付（100均で購入）
- 2、薄い両面テープ（20mm幅）（100均で購入）
- 3、電線少々（200mmほど）（カー用品店で購入 0.75sq）
- 4、ギボシ オス（1個）（カー用品店で購入）
- 5、銅ロール（0.1mm厚）（ホームセンターで購入）

銅ロール例



電極板の作成

100mm*100mmに銅板を切り出し(0.1mmの厚さの為ハサミで簡単に切れます)角は丸く切って怪我をしないようにしてください。

電極の大きさは100mm*100mmが絶対では有りません。大きいほど効果が期待できますが設置のしやすさから150mmぐらいが限度でしょう。



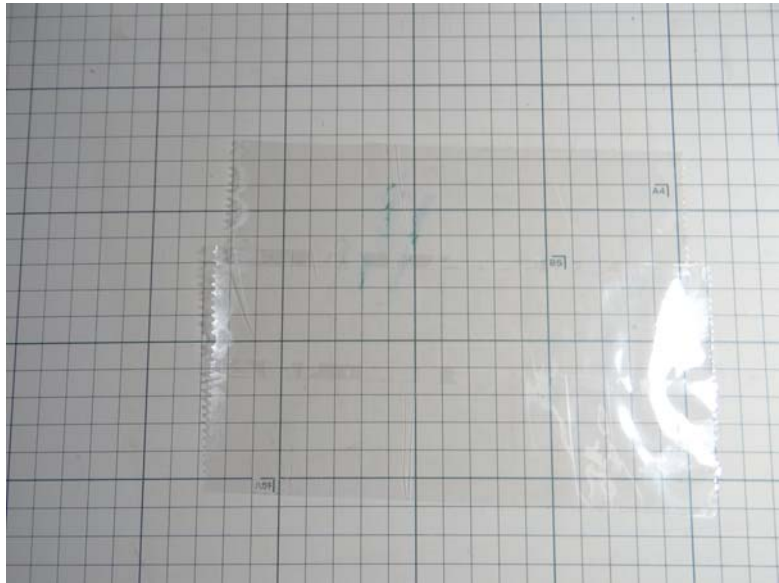
電線の取り付け

電極に銅板を選ぶ理由はハンダ付けが可能な事が有ります。電線にギボシを取り付けた後、銅板に電線をハンダ付けします。

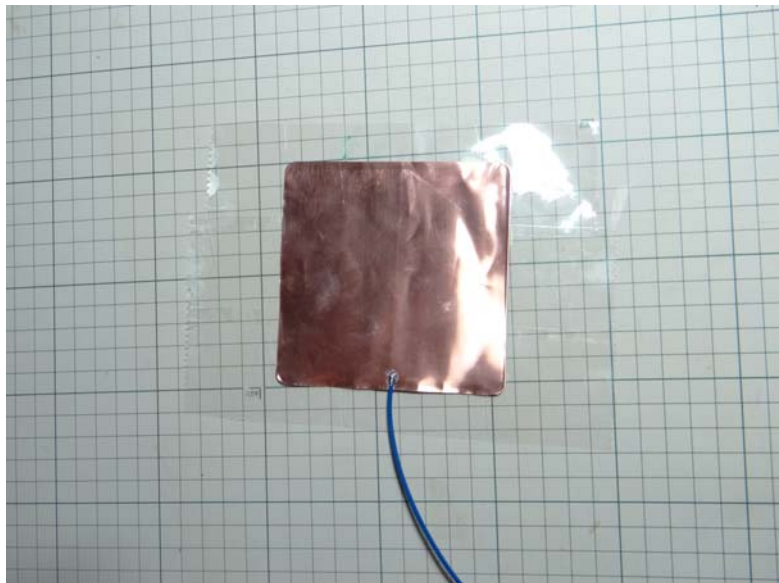


防水、絶縁作業

梱包用テープの糊の付いてる側を上にして3列10mm程度重なるようにして並べます。



テープの真ん中に電極を置いて（テープの端が10mm程度余裕があるように）貼り付けます。
銅ロールを使った場合、裏に糊が付いているため、紙を剥離してから貼り付けます）



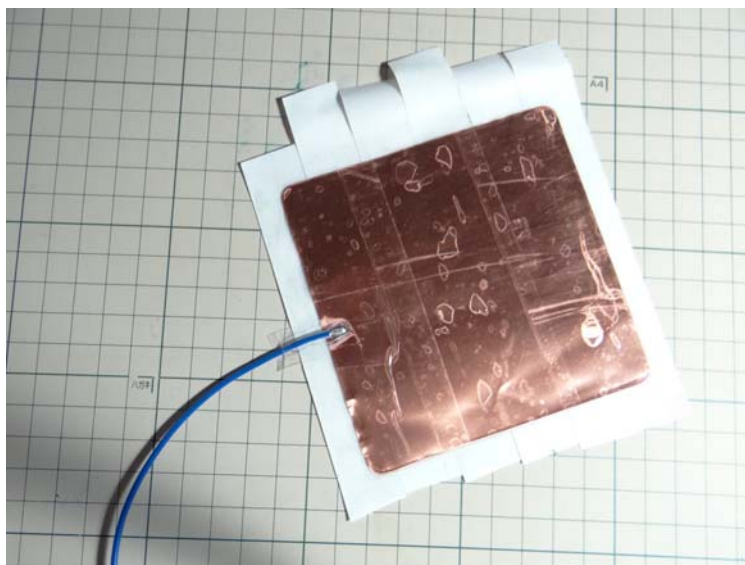
電極を貼り付けたあと上から梱包用テープを同じ様に貼り付けます。(上下からテープでラミネート状態になります)



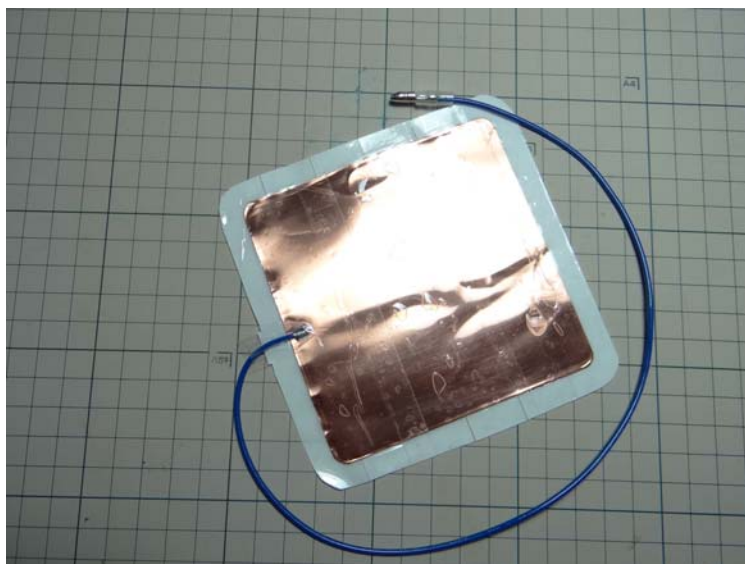
10mmの幅を残してテープの余分なところを切り取ります。



裏に両面テープを図のように貼り付けます。



余分な両面テープを切り取り完成です。



貼り付ける時は、車内のなるべく平らで湿度の溜まらないところを選んで隙間のないように貼り付けてください。(効率に直接影響します)

電極を複数貼り付ける場合はなるべく貼り付ける電極どうしを離して貼り付けてください。(1つは右後側に電極をはりたうけたら、1つは左前側に貼り付けるように。

電極の素材は、クッキング用のアルミホイルでも良いのですが、電線を取り付ける際にハンダ付けが出来ない為、ハトメや圧着等の方法を取らないといけなくなります。厚さがあるアルミ板の方が強度的に有利です。

尚、当電極は静電方式用のため、電極の消耗は有りません。

※ 設置場所は、高圧がかかるため絶縁、水濡れ、感電には十分に注意してください。



厚さは両面テープの剥離紙が付いた状態で0.5 mm程度です。